

J I S Q 1 0 1 1 分野別認証指針

社 内 規 格 例

工程名	管理項目	品質特性	管理方法及び検査方法	マスターO. A方式						マスターM. K方式																																			
				工総	管理項目	検査頻度	検査方法	判定基準	不合格の処置	工総	検査項目	試験方法	頻度	時期	判定基準	不合格の処置																													
3.練混ぜ	3' a)練混ぜ方法 b)練混ぜ時間 c)練混ぜ量	3" 1)強度 2)スランプ 又はスランプフォー 3)空気量 4)塩化物含有量	3'''練混ぜ 練混ぜ、強度、スランプ 又はスランプフォー、空気 量及び塩化物含有量	練混ぜ	スランプ	全バッチ	ホッパーへ 放出した ときモータ を通じて 目視確認 する	1)目標値±許容差 目標値=指定値+α値 単位 cm 指定値 α 許容差 8~18 1.5 ±2.5 5, 21 2.5 ±1.5 2)工程能力図が安定 していること	①製造を一時中止する ②検査係に実測を依頼する ③実測の結果、不合格の場 合は、そのバッチを廃棄す る ④品質管理責任者に報告す る ⑤品質管理規定の特性要因 図により原因調査を行な ない、対策を講じる	練混ぜ	コンクリートの 性状 容 積	モータを通して目視確 認(コンクリートホッパ-内)	全バッチ	練混ぜ 完了後	ワーカブルなコンク リートであること 容積棒を目安として 、おおよその量であ ること	A原因を調査する ①各材料のチェック (セメント,水,骨材 ,混和剤) ②標準配合及び 計量配合のチェック ③試験器具のチェック ④試験方法のチェック ⑤計量器の点検 (動荷重・静荷重) ⑥コンクリート温度 ⑦出荷製品の強度 チェック 上記の原因調査は 、品質管理規格「特 性要因図」を参照 B. 不合格品 廃棄する。但し、 使用可能で購入者 の承認が得られ た場合は、品管者 に連絡し、規格外 品として処理し出 荷する。																													
																	品質	スランプ	モータを通して目視確 認(コンクリートホッパ-内)	全バッチ	練混ぜ 完了後	スランプ及び空気量 の許容範囲 ^{注)} の 通り																							
																							JISA1101	2回/日	午前 午後																				
																	空気量	JISA1128																											
																	強度	JISA1108 JISA1106 JISA1132 JISA5308 附属書 C 呼び強度 24 で実施 (ない時は出荷の多 い規格品を採取す る)	1回/日	1)試料 採取 1回/日 2)強度 試験 材齢 28日	1)1回の試験結果が 呼び強度の強度値 以上であること 2)X-R _s -R _m 管理 図において、Xが X管理限界内であ ること																								
																	コンクリート 温度	温度計にて測定	1回/日	午前又 は午後	5℃以上 35℃以下																								
																	塩化物 含有量	カルメイト-100 又はカンタ ブにて測定	1回/月		0.30 kg/m ³ 以下																								
																	注) スランプの許容差										注) 空気量の許容差																		
																						<table border="1"> <thead> <tr> <th>指定スランプ (S)</th> <th>許容範囲 (cm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2.5</td> <td>1.0(2.0) + S ± 1.0</td> </tr> <tr> <td>5, 6.5 及び 21</td> <td>1.0(2.0) + S ± 1.5</td> </tr> <tr> <td>8 ~ 18</td> <td>1.0(2.0) + S ± 2.5</td> </tr> </tbody> </table>					指定スランプ (S)	許容範囲 (cm)	2.5	1.0(2.0) + S ± 1.0	5, 6.5 及び 21	1.0(2.0) + S ± 1.5	8 ~ 18	1.0(2.0) + S ± 2.5	<table border="1"> <thead> <tr> <th>コンクリートの種類</th> <th>許容範囲 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通コンクリート</td> <td>0.3 + 4.5 ± 1.5</td> </tr> <tr> <td>舗装コンクリート</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					コンクリートの種類	許容範囲 (%)	普通コンクリート	0.3 + 4.5 ± 1.5	舗装コンクリート	
																	指定スランプ (S)	許容範囲 (cm)																											
2.5	1.0(2.0) + S ± 1.0																																												
5, 6.5 及び 21	1.0(2.0) + S ± 1.5																																												
8 ~ 18	1.0(2.0) + S ± 2.5																																												
コンクリートの種類	許容範囲 (%)																																												
普通コンクリート	0.3 + 4.5 ± 1.5																																												
舗装コンクリート																																													
()は、夏期時のロス																																													
※試料採取場所は、ホッパー又はトラックジテータとし、採取方法はJISA1115による																																													